

## 『地震を想定した避難訓練について』

- ・ 今回の訓練は、「南海沖を震源とする大規模地震が発生」を想定し、津波も含めてどのように対応するのかを目的のひとつにしている。
- ・ 南海トラフの巨大地震については、30年以内に発生する確率は70～80%とされているので、君たちが生きている間に発生する可能性は非常に高いということになる。
- ・ 南海トラフの地震は、約100～150年間隔で繰り返し発生していることから、1944年(75年前)の昭和東南海地震や1946年(73年前)に昭和南海地震という巨大地震(マグニチュード8クラス)が発生してから70年以上経過していることから、切迫感が高まってきている。
- ・ 北区の防災マップ等で調べると、北稜中学校周辺は南海トラフの巨大地震が発生した場合でも津波は10cm以下であると言われているが・・・、
- ・ しかしながら、君たちはずっとこの地で生活をしているわけではなく、例えば、昨年度に3年生が修学旅行で行った『高知』では想定最大津波は34m、1年生が次年度に自然体験で行くことになっている和歌山では想定最大津波は20mとなっています。
- ・ 約10mの津波で3階建の建物が完全に水没するので、20mを超えるような津波に襲われると、北稜の校舎の4階・5階に逃げても完全に流されてしまうということになる。
- ・ 自分の住んでる地を離れたときのためにも、大地震による津波発生の場合は「できる限り高いところに逃げること」が基本になることと、あわせて今居る場所(海に近いなど)によっては、どこに避難するのかを前もって確認しておくことが大切です。